

■ 研究業績等

【著書】

- ・事典・辞書『嗜癖・依存1：分類・問題点』丸善出版（単著）：2019/09
- ・事典・辞書『嗜癖・依存2：危険因子・介入』丸善出版（単著）：2019/09
- ・事典・辞書『安楽死・尊厳死』丸善出版（共著）：2019/09

【論文】

- ・学術論文「S-アリルシステイン（SAC）高含有ニンニクサプリメントの忍容性試験」日本脳神経外科認知症学会誌 1(2):1-10（共著）：2021/09
- ・学術論文「東京国際空港における病院前対応の検討：院外心肺停止について」日本航空医療学会雑誌 22(1):22-27（共著）：2021/05
- ・学術論文「医学部卒前教育で重視される研究倫理の教育項目：医学系に関わる医療者へのWeb調査」CBEL Report 2(1):1-11（共同）：2019/09

【学会発表】

- ・東京国際空港ターミナルにおけるCPA症例に関する検討（第27回日本航空医療学会総会）：2020/12
- ・医療倫理の授業後アンケートの分析 医薬合同授業における学部間比較（第52回医学教育学会大会）：2020/07
- ・研究不正を起こす要因とその対策 文部科学省で公表されている研究不正一覧の整理（第52回医学教育学会大会）：2020/07

キーワード

面接試験 MMI 技能の測定

対応可能なもの ■講演 ■研修 □研究相談(学術指導) □学術調査 □コメンテーター □共同研究・受託研究

より適した人材を獲得する面接試験

研究の概要

日本では面接試験は「人物」を見ることを目的として実施されることが多いですが、海外の企業・医学部では受験者の「能力」を見る方向へとシフトしています。MMI（Multiple Mini Interview）は、医学部などで実施されているOSCE（Objective Structured Clinical Examination: 客観的臨床能力試験）の方法論を面接試験に導入したものです。測定したい受験者の能力（資質）を設定し、10分程度の面接ステーションを複数（10未満が多いようです）用意し、各ステーションで異なる能力を測定する課題を実施します。すでに日本の複数の医学部・医科大学の入学試験でも、MMIが導入されています。

実践研究として、入学試験の面接試験にMMIを導入した医学部（1校）の面接評価者を対象に、従来型の面接とMMIのどちらが入学試験として実施しやすいか、試験として適切であるかを尋ねたところ、過半数の評価者がMMIのほうが実施しやすく、面接試験として適切であるとの回答を得られました。

研究の詳細

□研究・技術のプロセス ■研究事例 ■研究成果 □使用用途・応用例 □今後の展開

MMIの妥当性を検証するため、現役受験生と大学卒業受験生間のMMIの各ステーションの得点を比較した結果を示します。図に示すように、大学卒業受験生のほうが現役受験生と比較して、高い得点を示す傾向にありました（図1および図2）。また、MMIでの評価が低い学生と高い学生の入学後のパフォーマンスを比較した結果、評価が低い学生のほうが、よりパフォーマンスが低くなる可能性が示唆されました（図3）。

図1 学歴による評価得点の比較（協調性）

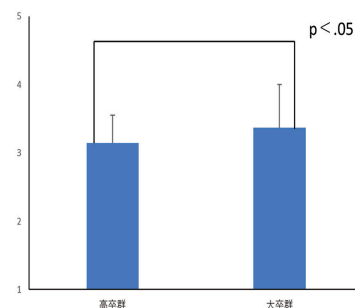


図2 学歴による評価得点の比較（倫理的判断）

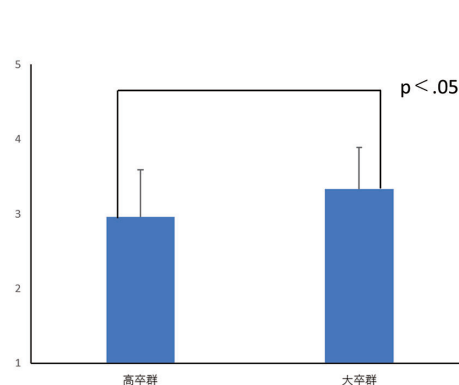
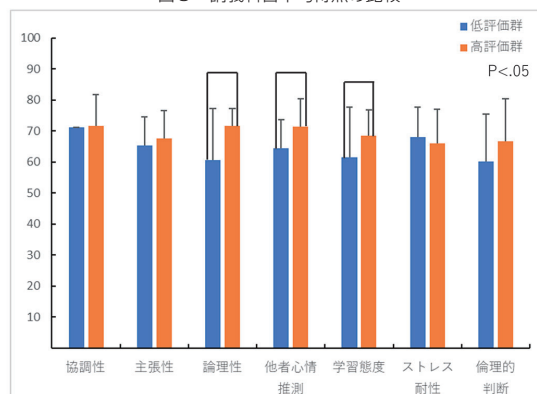


図3 講義科目平均得点の比較

産学官連携先に向けた
アピールポイント

- ・受験生の能力・資質に重きを置いた面接試験の実施
- ・受験生に求める能力の明確化